

かなりやぐみだより(秋)

チャリティー第一保育園
令和7年12月発行



かなりや組3期(9・10・11月)の目標

- ・身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気付く
- ・友だちの良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう
- ・美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする

○さつまいも堀り○1人の力では引っ張ることが出来なかったツルはみんなのかけ声と力を合わせ引っ張ることで大きなカブのように抜けました。お友だちと協力することや自然を感じながら収穫する喜びを分かち合う楽しさを感じた活動となりました。



うんとこしょ
どっこいしょ

掘ったらさつまいも
も見えてきた！



『おいしそうなおいがするよ』
自分たちで収穫したさつまいものおいしさにとっても驚きました。自分たちで育てたおいもは格別でした！



どうやって虫かごを作ろうかな

○廃材を使った虫かご作りに挑戦○

かなりやさんは、廃材そのものの形を活かして自分の虫かごを作りました。イメージを形づくることはことはまだ難しいですが、年中さん年長さんの作っている姿を観察し、こんなふうに使ってみたい！真似してみよう！という思いが芽生えていました。

○虫取りに挑戦○

作った虫かごを持ち小学校のグラウンドへお出かけ！虫捕りをした後は手作り虫かごに入れて虫の観察もしました。

秋ならではの遊びを楽しみました

○枯れ葉遊び○ 保育園の近くにある木から毎年葉っぱが落ちます。風で舞う葉っぱをおゆうぎ室から眺めていた子どもたちが興味を示したので、遊びに行くことに。枯れ葉を集めて上に投げて飛ばす遊びから、葉っぱの色の違いに気づき、茶色ではなく赤や黄色の葉っぱを探すなど遊びが変化しています。



いちにのさんで…
わあ～！！

たくさん葉っぱ
持てたよ！！

先生、見て。
この葉っぱだけ黄色
いよ。なんで？

『なんで葉っぱの色が違う？』

春から夏、夏から秋へと移り変わりの中で季節の変化を体感している子どもたち。秋を迎えると寒さを感じていた子どもたちは、「葉っぱの色の变化」と「寒さ」につながりがあることを感じたようです。

『葉っぱを

たくさん持てる！』
試行錯誤を繰り返す中で、力の加減を工夫し、より多くの葉っぱを持てるようになりました。

『枯れ葉集めゲーム』

先生が数字を数えその時間内でどれくらい集められるかという簡単なルールのゲームをしました。たくさんの葉っぱをもてるようになったので喜んで参加し、ゴミ袋6個分も集めることができました。

○「今日も一緒に遊ぼう！」○

気の合うお友だちと遊ぶことへの心地よさを感じる場面が多く見られるようになってきました。異年齢の友だちとの交流も見られています。時には、お互いに思いをうまく言葉で伝えられないことで、悲しくなることもありますが、お友だちとの関わり方を学んでいる最中です。



2025/09/06



今日は天気いいから影があるよ！



窓に手の影ができてる！

○影遊びパート2○

曇りの日が続いた数日間後に「影ができてー！」と念願の影出沒に大喜び！そこから影遊びになりました。この日から数日は外や室内での影探しが行われました。

わくわく保育での様子 “影”編

○影遊びパート1○

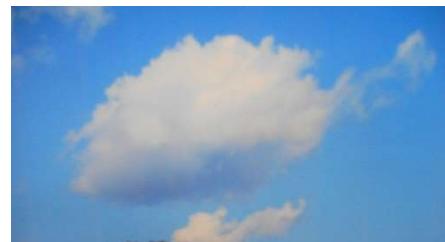
影を探しに戸外に出たのに曇り空で影現れず…でも、窓やハイエースに自分の手や顔が映ることを発見！いろいろな場所で影探しに活動が変化しました。



2025/10/23

2025/10/23

ハイエースに映ってるのも影！？



○雲の形あて遊び○

皆さんにはこの雲の形がどんなものに見えるか？
子どもたちは魚、クジラ、ぞうに見えるなど発見。子どもたちによって見え方が違い、お友だちの意見も聞き「ほんとだ。それにも見えるね」とやりとりし雲の形からイメージを膨らましていました。